

財政調整基金の運用は

特に定めず柔軟に活用



質問 現在の本市財政に関する各種基金残高はどうか。

答弁 財政調整基金は、将来、国庫に返還する復興財源

を除いた純粋な基金残高が約49億円で、市債管理基金が約24億円、公共施設等整備基金が約21億円、市営住宅基金が

約16億円となっている。

質問 運用方針はどうか。

答弁 特定目的基金の運用にあたっては、条例に定める趣旨に則って基金を活用している。財政調整基金は不測の事態に対応するという趣旨から、柔軟な判断の下に活用できることが重要であると認識しており、運用方針を定めず、柔軟な対応を継続していきたい。

質問 各種基金の適正規模はどうか。

答弁 財政調整基金は標準財政規模の10%程度が適正規模であると言われており、本市では7億円程度がひとつの目安になる。市債管理基金に

ついては適正規模額という考えはない。

質問 地方債残高はどうか。

答弁 令和3年度末の地方債残高は約135億円となっており、平成15年度と比較すると約40億円の減少となった。本年度も地方債の繰上償還を実施したところであり、令和4年度末の地方債残高は約123億円となる見込みで、令和3年度末残高と比較して約12億円の縮減となる見込みである。

地球温暖化対策は

質問 本市の地球温暖化対策の現状はどうか。

答弁 市の公共施設や民間の事業所などは、国県の補助を活用して太陽光発電システムを段階的に整備しているところであり、再生可能エネルギーの導入推進については引き続き進めていきたい。



公共施設の再生可能エネルギー



大坂 俊
(翔 成)

漁業生産額2倍の方策は

鮭の漁獲増や販売促進で



質問 東京電力ALPS処理水の海洋放出に対する市長の考えは。

答弁 政府は本年1月に本

年春から夏ごろに海洋放出を行う見解を示した。本市水産業にも影響は極めて大きいと認識しており、重大な懸念を

有している。

質問 市長の公約である漁業生産額2倍の方策は。

答弁 サケの記録的な不漁に研究機関等が原因解明の対応をしている。その成果を本市に反映できるようにする。また、カキ、ワカメ、ホタテなどの海産物の販売を後押ししながら生産額の向上に努める。

ノーマの継承を

質問 「ノーマライゼーション」という言葉のいらぬいま「づくり」の継承は。

答弁 陸前高田市は、法律に基づいてしっかりと運営している地方自治体であり、市の運営にいささかの問題も生じていない。



日没の広田漁港



伊勢 純
(日本共産党)

本市の財政運営は

質問 今後の本市財政運営は。

答弁 本市の財政運営は健全化に努めてきた。今後もバランス感覚を重視した持続可能な財政運営に努めたい。

質問 市のお金の使い方さまざまな市民意見があるが。

答弁 今後も継承し、真の共生社会の実現に向け、各種施策を展開する。

奨学金の拡充を

質問 本市奨学金は、本市に定着してくれる若者には返済不要とする給付型奨学金を実現してきた。本制度への評価は。

答弁 経済的に困難な多くの学生を支援するとともに、いずれは地元に戻って働きたいと考えている若者たちの背中を押す制度と評価している。

質問 本制度の対象者の変更や制度全体の拡充は。

答弁 今後、庁内の関係課と協議しながら詳細を検討する。

ホテル建設の進捗は

令和7年5月にオープン



質問 前市長が取り組んできたホテル誘致の進捗は。

答弁 本年2月末、共立メンテナンス社がホテル建設の

事業化を正式に決めた。令和6年1月に工事着工し、翌7年5月に本格オープン予定となっている。

新笹ノ田トンネルは

質問 昨年10月、前市長と連増知事が懇談し、新笹ノ田トンネルの整備などの進め方について協議したがどうか。

答弁 県は、整備する必要性や技術課題を検討する会議を本年度中に設置するとのことであり、整備に向け大きな前進と捉えている。

質問 矢作町内の急カーブ解消についてはどうか。

答弁 線形不良箇所も実施するよう要望している。

質問 旧矢作小学校の解体と跡地利用の方向性はどうか。

答弁 令和5年度に校舎と

体育館の解体工事の設計をし、令和6年度に解体工事を行う予定。旧矢作小周辺には改築、または長寿命化改修が必要な公共施設もあり、一体的な整備も含め地域の意見を聞きながら進めていきたい。

市長選公約の実現は

質問 大学誘致への具体的な計画はあるのか。

答弁 素晴らしい施設、広々とした土地、豊かな自然、温暖な気候といった陸前高田市の魅力を武器として大学誘致に全力で取り組む。

質問 市長選挙における政治公約について、もし実現できなかつたらどうするのか。

答弁 具体的な政策を掲げて市民の支持を得た。この4年間、政策実現のため一生懸命働くことだと思ふ。現時点では、目標が達成しなかったことなどは一切考えず前向きに対応していく。



ホテル建設予定地 (高田町)

伊藤 明彦
(新 志 会)